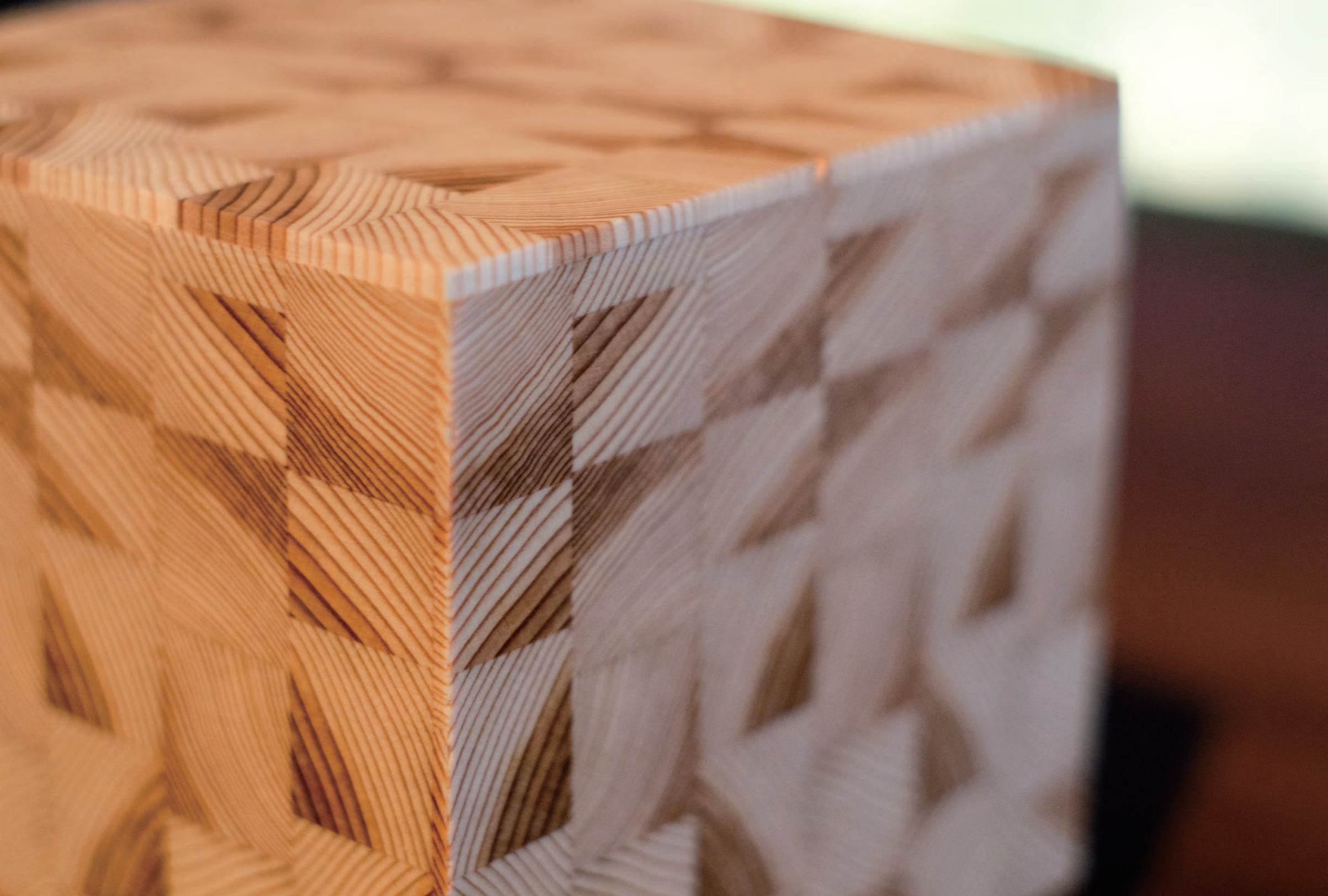




# 金山杉 年輪ランプ

東京都市大学小林研究室  
山形県金山町との連携（制作：岸家具店）



樹齢100年の金山杉は繊細な木目を持つ。雪深い金山町では、寒さと降雪のため、南方に比べるとスギの成長が遅く、その分年輪が緻密な良材が育つ。それが金山杉である。

この金山杉の角材の端材を利用してランプシェードをつくる。木口に沿って3ミリの厚さに薄くスライス。そこに規則的に現れる木目を互い違いに組み合わせると、とても綺麗な模様が姿を表す。



それは消灯していても、点灯しても美しい。  
ほのかな赤みが、ゆっくり周りを照らし、  
落ち着いた雰囲気へ誘う。

